



木材の可能性。その先へ

大三商行

DAISANSHOKO AND Fagiano OKAYAMA

地域スポーツと繋がり成長する 新しい企業のカタチ

1950 (昭和 25) 年創業、岡山県から千葉、宮崎と国内 3 拠点を置き、
長きにわたり国内の木材供給に携わってきた大三商行。
未来を見据えた人材育成や自然環境保全を掲げ、地域を代表する企業として躍進してきた。
そしていま、スポーツを通じて企業と地域、そして人を繋ぐ新しい文化創造へ挑戦を始める。

photography: Shinichiro Uehida<SUFC>
Edit: Sayaka Harada
Writer: Naoko Irie



〈左から〉北川真也、金山隼樹(ファジアーノ岡山)／石川和重、井上雅文(大三商行)

「社内がひとつになる」 影響力の強さを実感。

——ファジアーノ岡山のスポンサーとなったとき
かけや、当時の考えをお聞かせください。
大三商行 代表取締役社長 石川和重 (以下石川) ちょうどその頃、社内が「つ」にまとまるよ
うな《何か》がないかと考えていました。まさに

意識と熱量が変化する、感動の共有が持つ価値

グッドタイミングでファジアーノスポンサーのお話
をいただいて「これだ!」と思ったんです。しかし、
初めての試みでもあり、また事業と離れた部分
に資金を投入するという点に対して、正直当初は「社
内で反対が起きるのではないか」と不安がありました。
しかしまったくの杞憂に終わり、社内に「体感が
生まれたただでなく、愛社精神のような感情が
じわじわと醸成されていくのを感じています。例
えば家族でTV観戦を

される。子どもはそれだけですごく喜んでく
れ、家族の話題になつていくという話をよく耳
にします。さらに家族でスタジアムに足を運ぶ
など家族の時間にファジアーノと大三商行が深
く関わっているのは喜ばしいことですね。
ファジアーノ岡山スポーツクラブ 代表取締役
社長 北川真也 (以下北川) ありがたいことに、
Jリーグの中でもファジアーノ岡山はスポンサー

数屈指のクラブ。応援の《熱量》がとてつも
なく大きく、まるで自分の子どもにかけるよ
うな無条件の愛情をかけていただいています。
地域全体と一緒にチームを盛り上げていこう、
という意識がこのクラブよりも強いのではない
かと感じています。

ファジアーノ岡山 金山隼樹選手 (以下金山)
僕たち選手が好きなサッカーに打ち込めるの
も、スポンサーの皆さんのおかげです。ピッチに
立つと特に感じるのがスポンサー看板の多さ。

INTERVIEW

こんなに多くの方が自分たちを応援してくだ
さっていると感じられ、その思いがプレーの一歩
を後押ししてくれるんです。

大三商行 取締役常務執行役員 井上雅文 (以
下井上) ファジアーノは応援を「自分ごと」
にしているサポーターが多い印象ですね。身近
に偶然、とんでもなく熱い方がいらしゃったと
いう経験に幾度も遭遇してきました。だから私
も自分にできることをやりたい、という気持ち
に自然となるのだと思っています。個人的に、
応援だけでなくグッズ購入や金山選手も賛同
されている「UDN FOUNDATION アスリー
トが中心となって次世代育成・社会貢献を
目指す団体」にも加入しました。企業として
できること、個人としてできることをどちらも
していきたいという気持ちにさせてもらいま
す。何よりね、応援することが楽しいんです
(笑)。たとえ結果には結びつかなくても、選
手がベストを尽くしておられるのを間近にす
ることやパワーをいただいている、というのが正
直な気持ちだと思います。

「子どもたちに夢を!」を理念として掲げ、サッカーだけでなくスポーツの普及やスポーツを通じた
地域活動を行っている。スポーツに触れる(観る・する)ことで、地域課題解決に向けて地域各団
体との連携強化にも取り組み、様々なイベントも話題となっている。



「子どもたちに夢を!」を理念として掲げ、サッカーだけでなくスポーツの普及やスポーツを通じた
地域活動を行っている。スポーツに触れる(観る・する)ことで、地域課題解決に向けて地域各団
体との連携強化にも取り組み、様々なイベントも話題となっている。

DAISANSHOKO Talk with Shinya Kitagawa Junki Kanayama (Fagiano OKAYAMA)

PLOFILE

北川 真也(きたがわ しんや) / 1978年三重県出身。明治大学を卒業後、シンクタンク勤務を経て、2008年(株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ)に入社。同年にクラブのJリーグ加盟が承認される。2019年代表取締役社長に就任。CRM事業に力を注ぎ、J2リーグで屈指の集客力のあるチームに成長させた。

PLOFILE

金山 隼樹(かなやま じゅんき) / 1988年6月島根県出雲市生まれ。Jリーグファジアーノ岡山ゴールキーパー。6歳からサッカーを始め、2011年に当時JFLのVファレン長崎に加入。2014年にコンサドーレ札幌に移籍。2018年、ファジアーノ岡山へ完全移籍。2022シーズンにはキャプテンとしてチームを牽引、クラブ初の3位に貢献した。



INTERVIEW

抱える地域の課題を、県民・企業・クラブが一体となって解決を目指す。理念「子どもたちに夢を！」を実現するために今、それぞれの場所から立ち上がる。

全県でスポーツの恩恵も課題も共有し未来へ挑む。

——岡山の地域スポーツについて考えておられることはありますか？
井上 私も石川も岡山出身ですが、岡山県民の皆さんは控えめな方が多いように感じています。もう少し盛り上げていくために周囲を巻き込むアピール力は必要なのではないかと感じています。

石川 ファジアーノにもっとも共感しているのが「子どもたちに夢を！」という理念です。スポーツは子どもたちに成功体験を植え付ける絶好の機会です。ファジアーノが現在取り組んでおられるサッカー教室を始めとした子どもたちへの関わりは、スポーツに触れる機会を増大させますが、指導環境を同時につくっていくかなければ、一部の子もしか関われない。スポーツは人間形成にも関わってくることを考えれば、ひいては岡山の底力を高めていくには指導力の整備が不可欠になってくるのではないのでしょうか。

金山 実際のところはわからないのですが、岡山県はスポーツを気軽にできる環境が実はそんなに整っていないのかなという感じがします。近年では公園での球技が禁止されているところも増えていきますね。伝聞ですがありませんが、私立高校は学校のバスに乗って競技場にみんなで行くけど、公立高校はバスもないので、親の送迎負担が大きく、チーム内で差が出てしまうこともあるとスポー

ツを盛り上げていくのも大切ですが、実際に「スポーツをする」環境が整っていない問題が大きいのではないかと考えます。

北川 実は岡山県内のサッカー場は18面しか存在せず、全国43番目。さらに照明装置を備えた施設に限ればわずか4面しかありません。岡山でスポーツをする、あるいはスポーツで地域課題解決を目指すのであれば、地域の方々、スポンサーの皆さまと共に問題意識を共有し、解決を目指すことが地域に根ざしたスポーツクラブの使命と考えます。学校部活動の地域移行問題や石川社長がおっしゃった指導者不足など、今後子どもたちがスポーツをしたくても教えてもらえないという未来が見えています。私たちは県内のスポーツ施設33箇所を管理しており、将来的にはその施設で月曜はバスケットボール、火曜はバレーボール、などと指導者と場所を同時に提供できる体制づくりを考えています。子どものやりたいスポーツが実現できる環境づくりを目指してまいります。

石川 ファジアーノの挑戦を、県民と企業スポンサーが一体となって後押ししていくようにしたいですね。
金山 その意識をつくるには僕たち選手が結果を出すことが重要ですね。感動や笑顔がみんなの活力に変わっていきますから。J1昇格の景色を県民の皆さんにぜひ味わっていただきたいと思っています。僕たちも頑張ります！これからも応援をよろしく願っています。

期待以上を叶える挑戦。木材の可能性。その先へ

1950年の創業から70余年。山林経営からスタートした大三商行は、「木材のプロ」として時代と共にしなやかに業容を変化させながら、今日まで着実に成長を遂げてきた。創業の地である岡山をはじめ、関東一円への供給拠点となる千葉、そしてスギ素材生産量日本一である宮崎の3拠点を構え、国内のニーズをカバーしてきた。さらに木材調達や製造、構造計画から機械加工、建設工事まで、木造建築をトータルでサポートできることを強みとしている。「商いと、人と向き合うことに本質がある」——事業の核には常に《木》があり、さらに《木》を通して《人》の繋がりを紡いできた。誰よりも真面目に、どこよりも丁寧な。全員がプロとしての矜持を持って眼前の課題に立ち向かう。



中大規模建築の木造化に日々挑戦しています

COMPANY DATA



本社 岡山市北区下中野 708-111 tel.086-246-5241
岡山事業部 玉野市田井 3-32-1 tel.0863-31-3151
宮崎サンテック事業部 宮崎県日向市日知屋耳川 17062-2 tel.0982-53-8568
千葉支店 千葉市原市八幡北町 2-11-1 tel.0436-41-0355



HP



Youtube



Instagram



©FAGIANO OKAYAMA



©C.L.M



©TEGUSAJIRO MIYAZAKI

千葉ロッテマリーンズの廣畑敦也投手(玉野光南高校出身)や、サッカーJ3テゲバジャーロ宮崎など、ファジアーノ岡山に限らず、様々なスポーツの応援を通して、地域とスポーツの発展をバックアップしている。



インタビューの全貌はコチラ